

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】令和6年5月28日(2024.5.28)

【国際公開番号】WO2023/032950
 【出願番号】特願2023-545583(P2023-545583)

【国際特許分類】

C 1 2 N 1/21(2006.01)

C 1 2 P 21/00(2006.01)

C 1 2 N 15/90(2006.01)

C 1 2 N 15/09(2006.01)

10

【F I】

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 21/00 C Z N A

C 1 2 N 15/90 1 0 0 Z

C 1 2 N 15/09 Z

【手続補正書】

【提出日】令和6年2月22日(2024.2.22)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つのABCトランスポーターATP結合タンパク質の発現が喪失又は低下している、微生物。

【請求項2】

前記ABCトランスポーターATP結合タンパク質が、配列番号2のアミノ酸配列と90%以上の配列同一性を有するアミノ酸配列を有するタンパク質である、請求項1に記載の微生物。

30

【請求項3】

Bacillus属微生物、Cytobacillus属微生物、又はPaenibacillus属微生物である、請求項1に記載の微生物。

【請求項4】

Bacillus amyloliquefaciensである、請求項1に記載の微生物。

【請求項5】

少なくとも1つのABCトランスポーターATP結合タンパク質の発現が喪失又は低下していることにより、目的タンパク質の発現が増大している、請求項1に記載の微生物。

40

【請求項6】

目的タンパク質が、内因性の遺伝子によりコードされるタンパク質、又は外来遺伝子によりコードされるタンパク質である、請求項5に記載の微生物。

【請求項7】

目的タンパク質が、酵素である、請求項5に記載の微生物。

【請求項8】

前記ABCトランスポーターATP結合タンパク質をコードする遺伝子が、相同組み換えにより破壊されている、請求項1に記載の微生物。

【請求項9】

50

請求項 1 から 8 の何れか一項に記載の微生物を培養してタンパク質を生産させる工程と、得られたタンパク質を回収する工程とを含む、タンパク質の製造方法。

10

20

30

40

50